

<p><b>生徒の実態</b> 朝食を食べない生徒は少ない。 昼食は家からのお弁当を持参している生徒は半数。</p>	<p><b>学校教育目標</b></p> <p>舞岡のまちとともに <u>認め合い</u> <u>学びあい</u> <u>自ら成長し</u> <u>未来を拓く</u></p> <p>知 主体的に課題を解決 徳 認め合いと人権の尊重 体 命の尊重 健康な心と体 公 地域・社会へ自ら参画 開 視野を広げ、夢の実現</p>	<p>文部科学省 「学習指導要領」</p> <p>↓</p> <p>教育委員会 運営方針</p> <p>・健全な食生活を 目指した食の自己管理 能力の育成</p> <p>・持続可能な 社会の構築に 向けた食の創 造性の涵養</p>
	<p><b>食教育の目標</b></p> <p>① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 ② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。 ③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。 ④ 食物を大事にし、感謝する心、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む。 ⑤ 世界の食生活のマナーや、食事を通じた人間関係形成能力を身につける。 ⑥ 世界や各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、お互いを尊重する心をもつ。</p>	

**各学年の発達段階に応じた食教育の目標**

<p><b>小学校</b> 食事を通して食生活のマナーや豊かな心と好ましい人間関係を育てる バランスのとれた食事の大切さがわかる</p>	<p><b>1 学年</b></p> <p>・生活の中で食事が果たす役割や健康と食事との関わりを理解する。 ・食品に含まれている栄養素や働きが分かり、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。</p>	<p><b>2 学年</b></p> <p>・会食について関心を持ち、楽しい食事を通して望ましい人間関係をよりよく構築しようとする。 ・食品の生産、流通、消費について正しく理解することができる。</p>	<p><b>3 学年</b></p> <p>・自分の生活や将来の課題をみつけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進できるようにする。 ・食文化や歴史と自分の食生活との関連を考えることができる。</p>	<p>高等学校</p>

<p><b>特別活動</b></p>	<p>＜ 前 期 ＞</p> <p>・楽しい昼食時間の過ごし方を考えよう ・衛生に気をつけて食事をしよう</p>	<p>＜ 後 期 ＞</p> <p>・正しい食事マナーを身につけよう ・感謝して食べよう</p>	
	<p>学級活動</p> <p>・自分の体について知ろう 熱中症予防について学習</p>	<p>・自分の食生活と健康について考えよう</p>	
	<p>学校行事</p> <p>健康診断 教育相談 体育大会 修学旅行 球技大会 授業参観・懇談会</p>	<p>文化発表会 教育相談 自然教室 学校保健委員会 授業参観・懇談会 球技大会</p>	
	<p>生徒会活動</p> <p>組織作り 年間活動計画作成 今年度の活動の反省（保健安全委員会を中心に）</p>		
<p><b>教科との関連</b></p>	<p>1 年</p> <p>地理的分野 (1) 世界の様々な地域 イ ウ エ (2) 日本の様々な地域 イ ウ エ</p> <p>歴史的分野 (2) 古代までの日本 ア (3) 中世の日本 イ (4) 近世の日本 ウ エ (5) 近代の日本と世界 イ カ (6) 現代の日本と世界 ア イ</p>	<p>2 年</p>	<p>3 年</p> <p>公民分野 (1) 私たちと現代社会 ア イ (2) 私たちと経済 ア (3) 私たちと政治 イ (4) 私たちと国際社会の諸課題 イ</p>
	<p>理科</p> <p>第2分野 (1) 植物の特徴と分類 イ(ア) (イ) (7) 自然と人間 ア(ア)</p>		
	<p>技術・家庭 〔家庭分野〕</p> <p>A 家族・家庭生活 (2) 家庭と家族関係 ア B 衣食住の生活 (1) 中学生の食生活と栄養 アイ (2) 日常食の献立と食品の選び方 アイウ (3) 日常食の調理と地域の食文化 アイウ C 消費生活・環境 (2) 家庭生活と環境 ア</p>		
	<p>保健体育 〔保健分野〕</p> <p>(1) 心身の発達と心の健康 ウ (2) 健康な生活と病気の予防 イ</p> <p>(2) 健康な生活と病気の予防 イ (3) 傷害の防止</p> <p>(4) 健康な生活と病気の予防 イ (5) 健康と環境</p>		
	<p>道徳</p> <p>A 主として自分自身に関すること (2. 節度) B 主として他の人とのかかわりに関すること (7. 礼儀) C 主として集団や社会とのかかわりに関すること (14. 家族愛、家庭生活の充実) D 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること (19. 生命の尊さ)</p>		
<p>総合的な学習の時間</p> <p>自然の中で仲間と食事を共にすることを通して、よりよい人間関係を構築していくことを学ぶ。</p>	<p>校外学習を通して、東京の食文化を学ぶ。</p>	<p>校外学習を通して、長崎の食文化を学ぶ。</p>	
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>学校だより、保健だより、学校保健委員会、食物アレルギー等の個別相談</p>		
<p>個別相談指導及び取り組み方</p>	<p>・定期健康診断、保健調査票の結果、日常生活の様子等から必要に応じて個別相談指導を行う。 ・日常生徒の様子を十分把握し、配慮が必要な生徒については、保護者との連携を図る。 ・中学校給食における食物アレルギー対策において、保護者とのアレルギー面談を実施するとともに、学校長、学年職員、養護教諭で対応を確認する。</p>		
<p>部活動</p>	<p>・望ましい食生活について習得した基礎知識を実践できるよう指導する。</p>		